



地域の明日を医療で支える  
地方独立行政法人 長野県立病院機構

しらくま 



長野県立こども病院

わたし達は、未来を担うこども達のために、質が高く、安全な医療を行います。

No.45  
2016.9.10発行

# ニュースレター



長野県立こども病院だより第45号 発行日:2016年9月10日 発行者:原田 順和  
〒399-8288 長野県安曇野市豊科3100 TEL0263-73-6700 FAX0263-73-5432  
<http://nagano-child.jp/> ☐ [kodomo@pref-nagano-hosp.jp](mailto:kodomo@pref-nagano-hosp.jp)



## Contents

一できることをひとつずつ	
きっといいことがあるよー	1
こども病院祭は	
10月10日(体育の日)です	2
「この人に聞く」	6
PICU増床コラム	7
20年を振り返って	8
緩和ケアチームの紹介	9
高校生の一日看護師体験	10
看護部インターンシップ	10
夏祭り	11
ピバ!マイホームタウン	12
ピアノコンサート	13
栄養科通信	13
編集後記	13



### 長野県立こども病院理念

わたし達は、未来を担うこども達のために、  
質が高く、安全な医療を行います。

撮影:大畑淳

こども病院祭は10月10日(体育の日)です

## 一できることをひとつずつ きっといいことがあるよー

第8回病院祭 病院祭実行委員長 瀧間浄宏

みなさま、残暑まだまだ厳しいおり、いかがお過ごしでしょうか?こども病院も夏休みということもあり、忙しい日々が続いています。ですが、待ちに待った病院祭の季節がやってきます。今年は3連休の最後の月曜日、10月10日に開催されます。第8回となって、地域にしっかり根付いたものとなってきた感があります。今年も、実行委員はじめ、病院皆が数々の催しものを用意して皆様の来院を心よりお待ち申し上げます。

さて、今年のテーマは、「できることをひとつずつ きっといいことがあるよ」です。このことばは、2011年に古川宇宙飛行士と病院のこどもたちが宇宙との交信を行ったときに、古川さんからこどもたちに贈られたことばです。こどもたちはこの言葉にとても勇気づけられました。しかし、きっと多くのこどもたちにとってもとても大切な「夢をもって生きていくところ」を教えてくれることばだと信じます。そんな願いを込めて病院祭のテーマに選ばせていただきました。

また、病院祭のポスターのデザインを漫画家の折原みとさんに依頼して、すばらしいものが出来上がっておりま



す。プログラムの表紙やHPに掲載しております。どうぞよろしく願い申し上げます。

\* 昨年の病院祭の写真を各イベントの解説に合わせて掲載しています。一年前の情景を眺めながら今年の病院祭を想像するのも楽しいですよ。

# こども病院祭は10月



## 講演会

今年は講演を2つ企画しました。1つ目の講演は、JAXA（宇宙航空研究開発機構）広報部の木場田繁先生がいらっしゃって、「うちゅうへ しゅっぱつ!! 一宇宙って どんどこ？、ロケットってなに？」との題でわかりやすくこどもたちに講演をしていただきます。実際に種子島からのロケット打ち上げ業務にも従事なさっていたとのことなので、きっと興味深い話がきけることと思います。ぜひ、こどもたちから、たくさん質問してください。

もう一つの講演は、当病院のアイドル、山田倫太郎君です。倫ちゃんとみんな呼んでます。彼は生まれつきの心臓病で手術をなんども受けており、現在も合併症と闘病中です。しかしながら、小さな作家として大活躍しており、「医者を目指す君へ」（東洋経済新報社）、「いのちの尊さについてぼくが思うこと」（角川書店）などを執筆しております。テレビにもたびたび出演して、その楽しいキャラク

ターでお茶の間を沸かせております。倫ちゃんが自らの体験をもとに楽しくてそしてまじめな話をしてくれると思います？ MCにはフリーアナウンサーの魚住由紀さんを迎えて、倫ちゃんとのトークショーの時間も作りました。会場のみなさんを巻き込んで倫ちゃんワールドへ誘います。どうぞみなさん聞きにきてください。

## 正面ホール

今年はJAXA（宇宙航空研究開発機構）と山田倫太郎君の講演会が昼間に開催されます。またギターやハープ、アフリカンダンスなど様々な催し物が行われます。そして最後はちるくま体操。皆さん、ぜひ一緒にちるくま体操を踊りましょう！



## キャノピー（正面玄関前）

キャノピーには、『銀だこカーのたこやき』『掘金物産店さんの綿あめ・あまざけ』『トエネックさんの豆腐ドーナツ』『新生児病棟のつきたてお餅』とたくさんのおいしい物がいっぱいです。ぜひ、おこしてください！

# 10日(体育の日)です



## はたらく車、乗り物大集合

ドクターヘリ、救急車、消防車、パトカー、ショベルカー、装甲車などたくさんのはたらく車が展示されます。今年はトーエネックの高所作業車も参加！毎年大好評の熱気球も運航します。ぜひ乗ったり触ったりしてみてください。

## 海の生き物

昨年に続き、海洋“楽”学校の林正道氏による「海の生物ロボット」が来院します!!

本物そっくりな「泳ぐロボット」に触れて、海の生物の楽しさや大切さを実感しよう♪





## 毎年恒例大人気企画 ☆キッズニア☆

病院での仕事をお子様達に体験してもらう企画を準備しました。医師や看護師、薬剤師、検査技師、保育士、栄養士、色々な専門職になりきって楽しんでもらう体験スペースです。小さいお子様から大きなお兄さん、お姉さんも楽しめます。

## 院内探検ツアー

ふだんは見ることができない病院のあんな場所、こんな場所を探検してみませんか？スタッフがわかりやすい説明つきで案内してくれます。今年は参加人数を大幅アップ！たくさんのご参加をお待ちしています。



## 展示・模擬店 (廊下スペース)

わたあめ・ポップコーン・有明パンなどの食べ物コーナーやバルーンアート、アロマテラピー、フェイスペイント、ヘアアレンジといった体験コーナーなど楽しいブースが盛りだくさん！手作りの小物やちるくまグッズなども販売しているので、ぜひ遊びに来てください。



## 中庭

中庭は、出店がめじろおし！スターバックスコーヒー・A-COOPの福引・吉野地区の水ヨーヨー・家族会（18っこの会とほっとくらぶ）の手作り販売があります。また、“松本古城太鼓”の迫力ある演奏も聞けますよ！太鼓の演奏を聞きながら、おいしいコーヒーとお菓子を食べて楽しんでください。

## マッサージ

今年も行います！毎年大好評の松本盲学校の先生方によるマッサージ。先生方が皆様の症状や希望に合わせてスペシャルなマッサージを行います。

人数制限はありますが、病院祭で癒しのひと時を過ごしてみませんか？皆様のお越しをお待ちしてま〜す♪





感染症といえばこの人、南 希成（みなみきせい）先生の登場です。何となく予想はしていましたが、期待以上に個性が光るインタビューになったようです。

### ～バリバリの文系がいつの間にか医学部に～

編) なぜ医師になろうと思われたのですか？

南) もととは文学なんかに関心のある、バリバリの文系学生でした。高校の担任にも「君はそっちの方が向いている」と言われてましたね。でもまあ、医師を目指して信州大学の医学部に入ってしまった。

### ～冬山で凍傷になる～

編) 学生時代の思い出をお聞かせください。

南) 大学時代に冬山で凍傷になりました。1年目で、初めての冬山登山だったので先輩から手袋などの装備を借りました。しかし尋常じゃなく寒くて、そのうち手の感覚が麻痺して凍傷になったことに気づきませんでした。後からリーダーに「なんでこんなになるまで我慢してたんだ！」と怒られました。(幸い、指の凍傷は治りました。)

### ～一般小児科は7、8割が感染症～

編) こども病院で感染症を専門にされている経緯を教えてください。

南) こども病院に来る前は市中病院に勤務していました。毎日外来を診て病棟もやって。一般の小児科外来って、7-8割の患者さんはカゼなどの感染症なんです。そんな中で、だんだん感染症に興味を感じるようになり、感染症の診療や対策に取り組むようになりました。

### ～医療支援でアフリカへ～

編) 「国境なき医師団」に参加されていますが、そのきっ



国境なき医師団1回目のミッションで行ったナイジェリアのドクター、患者さんと家族たち。

かけは何だったのでしょうか？

南) 学生時代から、途上国とくにアフリカで医療活動に参加したいと思っていました。ただし僕は支援や協力が必要などころには行きたいけれど、そこで暮らしたいとまでは思いません。マラリアやエボラ出血熱が流行して人手が足りないとか、そういうところに単発で行ければ十分ですね。

### ～バケツシャワーを知ってますか？～

編) 国境なき医師団での思い出やご経験を教えてください。

南) これまで3回のミッションに参加させていただきました。1回目は2008年、ナイジェリアで栄養失調の子供の治療プログラムで3-4か月。2回目は2014～2015年に南スーダンでマラリアと栄養失調の診療を中心に小児病棟を3か月くらい。3回目は例外的ですが、今年の4月末、地震で被災した熊本の支援で1週間ほど活動しました。

編) 今までの活動の中で何が印象に残っていますか？

南) お風呂はバケツシャワーとか…でっかいポリバケツに水をためておいて、そこから手桶で水を汲んで体を洗うん



南スーダンでの集合写真(2回目のミッション)。確かクリスマスだったような…



南スーダンで作ったギョウザ(苦心の作)。

です。結構虫が浮いていたりして。現地の生活は不便ですが、皆でバレーボールをやったり、面白かったですよ。

編) 文化の違いはどうでしたか？

南) 最初に行った所はナイジェリア北部、イスラム教徒が多いところでした。1日5回のお祈りがあり、断食月(ラマダーン)の日中は飲食しないとか、興味深かったです。皆フレンドリーでしたし。朝、まだ暗いうちにスピーカーから音痴なオッサンの声が聞こえるんです。「ラーイラーハイッラッラー」とか。これはアザーンという、イスラム礼拝堂からのお祈りへの呼びかけで、そのうち慣れるんですが始めはびっくりしました。

編) 国境なき医師団のスタッフはどんな人たちですか？

南) 支援される国・地域の内外からスタッフが集まります。色々な国や文化の人が集まったチームで働くので、考え方の違いやコミュニケーションの難しさなど、面倒なこともあります。そういうバックグラウンドが違う人たちとひとつの仕事をするのが面白かった。得がたい経験でした。

### ～キリマンジャロ登頂～

編) 今までの人生を振り返って誇りに思っていることはど

んなことですか？

南) やっぱナイジェリアに行った国境なき医師団で最初のミッションが、自分としては一番充実していて達成感がありました。あとは…学生時代にキリマンジャロ(標高5,895m、タンザニア)に登りました。これは少し自慢できるかな。先輩に誘われて、男4人で、当時一番安くて危険だったインド航空の飛行機に乗ってね。

### ～教えるより働く姿を見てほしい～

編) 後輩に伝えたいことは。

南) 仕事では…特にはないですね。皆まじめで優秀なので、好きにやったら良い(笑)。

僕は教えるのがあまり得意じゃないんです。ただ、一緒に働いている中で「あ、こういう生き方もあるんだな」と思ってくれる人が出てくれればいいな、とは思っています。なかなかそういう風にはなれませんが。

編) お忙しいところ、お時間をいただきましてありがとうございました。

インタビュー：赤羽純恵 西沢博子

## PICU増床コラム

小児集中治療科 部長 松井彦郎



いよいよ工事が始まりました。細かい修正をしながら着々と前に進んでいます。もう既に内装等の細かい設定を話し始めています。目標は“病棟のようなPICU”です。働きやすい、患者さん・ご家族にも優しいPICUを目指しています。秋には増床棟の本体が出来上がります。冬前には現在の家族ラウンジを閉鎖する必要がありますので半年以上ラウンジが使用できません。付添のご家族にはご不便をかせてしまいますが、御理解・御協力宜しくお願いします。



## 20年を振り返って 笛木昇 先生



リハビリテーション科部長の笛木昇先生が10月から諏訪にある信濃医療福祉センターに移られることになりました。これからもこども病院と手を取り合って活躍される笛木先生にお話をうかがってきました。

### ～信濃医療から誘われて～

編) 信濃医療福祉センターへご栄転とうかがいました。

笛) 今年還暦なんで、まあ、5年ほど定年が早まっただけでね(笑)。信濃医療の方が今の自分がやりたいことをやりやすいかなと思ったのと、向こうから誘ってもらったので。誘われると「ハイっ」て言っちゃうほうだから(笑)。

編) リハのスタッフが寂しがっていましたよ。

笛) でも大学から新しい先生が来てくれるからね。こども病院は急性期から慢性期までのリハビリテーションだけど、信濃医療の方は主に慢性期のリハビリテーションなので、教育とか福祉の人との連携についても、こども病院と役割分担をしていったらいいかなと思っています。

### ～山を下りて知る世間の動き～

編) 群馬のご出身だそうです、学生時代を含めてどんな思い出がありますか？

笛) 高校は群馬県立前橋高校という男子校で、ブラスバンドをやっていました。東北大学に進学した後はワンダーフォーゲル部に入って、夏の北アルプスや南アルプスによく来ていました。1年生のときは槍ヶ岳や穂高あたりの縦走をして、2、3年生は南アルプスの北岳など日本で2・3番目あたりの山に行きました。

編) 山に登っていたとき何かハプニングはありませんでしたか？

笛) そうだなあ…、大学1年の時に山を下りてきたら「田中角栄逮捕」というニュースが流れていました。山にいると天気予報以外はあまり世の中の情報が入らなくて、ちょっとびっくりしました。

### ～家でも“支援会議”の話題が多いですね～

編) 先生のご趣味は？

笛) 趣味はね、うーん…本当に何も無いんだよね(笑)。

編) 奥さまとゆっくり過ごすのも好きだと聞いたんですが。

笛) えっ？奥さんと？(びっくりした様子でニコニコして) 奥さんは…そうですね。もともと看護師で、こども

が大きくなったので仕事を再開して、在宅の支援をしています。けっこう僕より忙しくて、家に帰っても支援会議の話とかしてるかなあ。最近はそういう話題が多いですね。

### ～神経グループに入って脳波をとる～

編) 先生が小児神経を選ばれた理由を教えてくださいなのですが？

笛) 東北大学の小児科では代謝疾患を研究するグループが一番大きくて、その他に神経グループと循環器グループがあって、まあ、血を見るのがあまり好きではなかったので神経グループで脳波をとる方に回りました。それから、卒後7年目くらいに、もう少し小児神経の勉強をしたいなと思って東京の国立精神神経センター武蔵病院に行きました。

### ～この20年で長野県はだいぶ変わりました～

編) こども病院に来られて20年ですね。記憶に残っていることは何ですか？

笛) えーっと、最初はねえ、南棟しかなくて。まあ、こっちに来てから患者さんの親御さんのお子さんへの接し方にはすごく勉強させてもらっていて…。20年前僕が来た頃は、第1病棟の一つの部屋に、医療的ケアの多い患者さんがかたまっていたんですよ。そんな中で「こういう子どもたちがいるんだ」ということを知ってくれる人がだんだん増えてきて、小児の在宅医療はこの20年間でだいぶ変わったんじゃないかな。

### ～患者さんのよりどころになれる施設に～

編) 信濃医療福祉センターでの抱負をお聞かせください。

笛) まだわからないことはありますが、施設というずっと入所しているという印象が強くて、親と離れてしまったお子さんがいるというイメージがあります。そういうのではなくて、少し中間的にお預かりするような施設としての役割ができればいいかなと思っています。それって実際、今こども病院でやっていることなんだけどね。疲れた時は入所して、また退院してというのを繰り返すことができるような、よりどころになればいいなと、預けっぱなしというようなところがちょっと変わってくれたらいいなあと思っています。

穏やかな表情で、優しい話し方で癒されるようなインタビューでした。笛木先生ありがとうございました。

インタビュー：神田莉沙 西沢博子 平林富子

# 緩和ケアチームの紹介

血液腫瘍科 坂下一夫

“緩和ケア”と聞いて皆さんは何を連想しますか？

おそらく多くの方は成人のがん患者を想像し、痛みや症状緩和をする医療を考えるのではないのでしょうか。これは間違いではありませんが、最近の対象となる病気や考え方が大きく変わってきています。今回はそのことを紹介しつつ、当院での取り組みについて紹介したいと思います。

## ～“がん”だけではない緩和ケア～

小児緩和ケアの定義を文末(\*)に示しました。対象の病気は“生命を制限する病気”と書いてありますが、もちろん根治する可能性のある病気も含まれます。成人領域では、がん診療で緩和ケアの提供、医療体制などが推進されてきただけでなく、最近では循環器疾患、神経疾患、呼吸器疾患などがんと関係ない疾患に対しても緩和ケアのあり方が議論されていて、国の政策として推進されようとしています。小児領域においても小児がんでなく、神経疾患、循環器疾患、外科疾患などすべての病気が対象となります。

## ～小児の緩和ケアとは～

このような病気を持った子どもと家族に対して“生きる”をサポートすることが小児の緩和ケアです。具体的な緩和ケアの提供については、小児領域ではまだまだ不十分なところが多々あります。まず緩和ケアに関する知識や技術を身につける機会が乏しいことが指摘されています。このような背景があり、小児緩和ケアの啓発と普及、質の向上を目指して厚生労働省の研究事業として『小児科医のための緩和ケア教育プログラム (CLIC: Care for Life-threatening Illnesses in Childhood)』が開発され、研修会が全国各地で年数回開催されています。

## ～子ども病院の緩和ケアチーム～

当院の緩和ケアチームは約3年前から活動を開始しています。チームには病院の様々な部門から多職種の職員が参加して、現在23名で活動を行っています。具体的には月2回の院内ラウンドと月1回のミーティングを行い、相談のあった事例については必要に応じて関連するメンバーでミーティングを開いています。

## ～“痛み”だけではなく“苦しみ”をやわらげたい～

これまで特に“痛み”に焦点をあて活動を行ってきましたが、医療者の“痛み”に対する意識と対応の変化を



緩和ケアチームのメンバーです



ミーティング風景

感じています。今後は痛みだけでなくその他の身体的、心理社会的なさまざまな問題に対して的確に対処して苦しみを予防し、和らげることで病気を持った子どもとその家族の“生きる”をサポートできるような活動を行っていきたく考えています。何か相談したいことがありましたら気軽に連絡してください（院内廊下の掲示板に連絡先が載っています）。

### \*小児緩和ケアの定義

生命を制限する病気とともに生きる子どもと若者のための緩和ケアとは、身体的、情緒的、社会的、スピリチュアルな要素を含む全人的かつ積極的な取り組みである。そしてそれは子どもたちのQOL (quality of life; 生活の質) の向上と家族のサポートに焦点を当て、苦痛を与える症状の緩和、レスパイトケア、死を経て死別後のケアの提供を含むものである。

## 高校生の一日看護師体験

長野県看護協会が県内の高校と連携し、看護師を目指す高校生を対象に『一日看護師体験』を実施しています。こども病院では8月2日（火）、12日（金）の2回にわたって総勢48名の高校生が看護師体験をしました。

最初は緊張した表情で病棟に向かった高校生たちでしたが、赤ちゃんを抱っこしたり、こどもと触れ合ったり、手術室で普段見ることができない器械に触れたりして、充実した笑顔を見せていました。

看護師体験を終えたばかりの高校生に感想を聞いてみました。

### ～一日看護師体験にこども病院を選んだ理由はなんですか？～

・小さい頃こども病院に入院したことがあり、その時の看護師さんが優しくてかっこよくて、将来看護師になってこども病院で働きたいと思ったからです。



・看護師に興味があり、こどもが好きなのでこども病院を見てみたいと思いました。

### ～こども病院で看護師体験をした感想は？～

・一般の病院にも行きましたが、そこは違って患者さんが楽しめたり、怖くないようにする工夫がありました。外から見ていだけでは分からないことも知ることができたので、これから進路を決めるのに活かしたいです。  
・話しかけて返してくれる患者さんと、話ができないような小さい患者さんがいて、どうしたらいいか困りました。けれど、看護師さんが話しかけている様子を横から見ていて、患者さんとの接し方を学ぶことができました。とても良い経験でした。  
・小さく生まれた子が頑張って生きようとする力は、ドラマで見るよりもっとすごいと感じました。その子たちを支えている看護師さんはかっこよかったです。

・私も体重が少なくて保育器に入りましたが、看護師さんにこうやって優しく支えられて大きくなったんだと感動しました。

一日という本当に短い時間でしたが、この体験から命の大切さを実感し、自分自身や自分のまわりの人を大切にしたいと願っています。看護師という仕事は決して楽しいことばかりではないけれど、とてもやりがいのある仕事です。この経験がこれからの進路を決めるために役立つてもらえたらいいなあと思いました。

(西沢博子)

## 看護部インターンシップ

看護部では、『小児・周産期看護に携わりたいと考えている看護学生が、体験を通してイメージを深め、働く職場として当院を考えられるようになる』ことを目的に、2日間の病棟実習（インターンシップ）を毎年3月、8月の2回募集しています。

対象は専門学校2～3年生・大学3～4年生で、いつも応募者が多くすぐに申し込みが終了する状況が続いています。

実習は学生さんが希望する病棟で行います。内容は看護師の患者さんへの対応やスタッフ同士の関係などを実際に

体験することで、こども病院の看護師の仕事がイメージできるようにしています。

一日目が終わると近くのホテルに宿泊し、先輩看護師と一緒にご飯を食べながら、実際に働いた感想や率直な疑問を聞く質問タイムになります。先輩看護師への質問には「就職して1年目で苦労したことはなんですか？」「辞めたいと思ったことはないですか？」「小児看護のやりがいはなんですか？」「こどもとコミュニケーションをとる上で気をつけていることはなんですか？」などがありました。

先輩達の思いを聞いて少しはイメージできましたか？

## ～インターンシップを終えて～

- ・病棟の雰囲気もよく、みんな優しい看護師さんで就職したい気持ちが強くなりました。2日間を通し、先輩やみんなと情報交換ができてよかったです。
- ・患者さんだけでなく、ご家族に対するサポートも大切だと教えてもらいました。今後の実習に役立てたいです。
- ・ご家族の背景や性格などを含めて患者さんを知ろうとしている看護師の姿がうかがえました。患者さんのちょっとした変化も分かる看護師になりたいと思いました。
- ・他の学校の人達といろいろな話ができて勉強になりました。以前よりも小児看護に関わりたいという思いが強くなりました。



学生さんには夏休みに遠くから来てもらいました（県外の学生さんも多くいました）。今はこどもが少ないのでなかなか小児科実習ができない現状もあるようです。実習では教科書で学んだことを実際に体験できたのではないで

しょうか。この経験を今後、どうやって実践に活かしているか…期待しつつ、同じ看護の道を進む仲間として応援しています。まずは、国家試験に合格して卒業できるように頑張ってください。そして、いつか一緒に働く仲間になれるといいですね。

（西沢博子）

## 夏祭り

「こども病院夏祭り」がレクリエーション委員会主催で8月10日に開かれました。病院ロビーにはヨーヨー釣り、射的、くじなどの“遊びコーナー”、わたあめ、ポップコーン、かき氷などの“食べ物コーナー”など、お楽しみブースが盛りだくさん。楽しげな祭ばやしをBGMに、笑顔いっぱいのこども達の姿が見られました。

吉原恵美さん（レクリエーション委員会 副委員長）にお話を聞きました。

ふだん病棟から出ることのない子どもたちが、少しでも笑顔になってくれたら…という思いで企画しています。当日を迎え、たくさん子どもたち、またそのご家族に楽しんでいただけているようで、レクリエーション委員会としても嬉しい気持ちでいっぱいです。

（神田莉沙）



## ビバ!マイホームタウン 形成外科 一之瀬優子

こんにちは。形成外科の一之瀬優子です。私は福島県会津地方で育ちました。会津は福島県の西部に位置し、周囲を奥羽山脈や越後山脈などに囲まれています。歴史的な名所や懐かしい原風景が残る自然豊かな地域です。信州と似ているところも多いです。鶴ヶ城、磐梯山、猪苗代湖、尾瀬ヶ原などが有名だとは思いますが、今回は特に知ってほしい会津の名所や名物を紹介します。

### 三ノ倉高原

ラーメンで有名な喜多方市も会津地方にあります。喜多方市の北部にある三ノ倉高原は、春は菜の花畑、夏は東北最大級のひまわり畑、秋はコスモス畑、冬はスキー場にと姿を変えます。近くに温泉もあるので、季節のお花やスキーを楽しみ、ラーメンを食べ、温泉に入るなんて贅沢もできちゃいます。

### 起き上がりこぼし

転んでもすぐに起き上がる、会津を代表する無病息災、家内安全の縁起物です。「家族が増えますように」との願いを込めて、家族の人数より1個多く購入する習慣があります。山積みになった起き上がりこぼしを握ってお盆の上に転がし、しっかり起き上がるのを選びます。絵付け体験ができるお店もあるので、自分へのお土産にもぴったりです。



### 栗饅頭 (あわまんじゅう)

会津地方の西部に位置する柳津（やないづ）町の名物です。「災難に〈あわ〉ないように」との願いを込めて作られるようになったそうです。鮮やかな黄色いお饅頭で、も



三ノ倉高原



鶴ヶ城

ちもち、ぷちぷちした食感がくせになります。出来立てを食べるのがおすすめです。柳津町には版画家の斉藤清美術館もあり、会津の四季の風景を題材にした作品が数多く展示されています。

### 石部桜

大河ドラマ『八重の桜』のオープニングに出てくる桜です。また、周囲に建物がなく、田んぼの中にあるので雄大に伸びた枝が見事です。会津の桜は松本より2週間ほど遅い印象です。

長野県から会津へは、北陸新幹線と東北新幹線を乗り継いで行くこともできますが、車のほうが便利だと思います。北陸自動車道で新潟まで行き、磐越自動車道に入れば松本からでも4時間ほどで着きます。ここでは紹介しきれなかったおすすめがまだまだたくさんあるので、会津にお出かけの際は、ぜひ私に声をかけてください。会津にぜひ来てくんつえ。



石部桜

## ピアノコンサート ～りんりんず・石曾根りえさん～

病棟の廊下にピアノが運び込まれ、コンサートが開かれました。みんな知っている童謡やアニメの曲をお話を交えながら軽快に弾いてくださいました。おかあさんと一緒に連弾も体験しました。ピアノの音色に合わせて体を揺すったり、歌ったり楽しいコンサートでした。



## 栄養科通信 第10回

皆さま、今年の夏休みはどうでしたか？この夏、バイキングで初めてパフェを作ってみました。ひんやりアイスに果物やクリームを添えて、どれもとてもおいしそうでしたよ♪また七夕には、月と星をイメージした七夕食も登場しました。まだまだ暑い日が続きますが、皆さん元気に過ごしましょう♪



\*「しろくまニュースター」のバックナンバーは長野県立こども病院ホームページでご覧になれます

## 編集後記

この夏の話題といえば“ポケモンGO”ですね。昔のポケモンなら何度もアニメ映画に連れていかされたものですが、モンスター同士のバトルがなぜ始まるのか全く理解できないまま毎回熟睡していたため、実はいまだにゲーム自体がよくわかっていません。ならば今度こそ！と思っても、なんせガラケーですからねえ。まあどうでもいい個人的事情はこれくらいにして、ポケモンGOの集客力はすごいらしいですね。まるで“〇〇ホイホイ”です。それでは身近なイベントでポケモンGO並みのすごい集客力あるのは何かというと…そうです！病院祭があります。例年大勢の方々にお集まりいただけるのは、それだけ人を引きつける内容があるからなのでしょう。今年の病院祭は正統的な体育の日にあたる10月10日。たぶん晴れるので、楽しい一日をお過ごしください。

小木曾

# 長野県立こども病院 外来医師担当表

平成 28 年 9 月 1 日現在

外来名	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
整形外科	二見 徹 (AM)	高橋 淳 (PM) (第2・第4)	松原 光宏 二見 徹 加藤 博之 <sup>※1</sup>	松原 光宏 (AM)	松原 光宏
小児外科		畑田 智子 (AM) 好沢 克 (AM) 高見澤 滋 (PM)	高見澤 滋 (PM)	畑田 智子 (AM) 好沢 克 (PM)	岩出 珠幾 (AM)
眼科	北澤 憲孝 視能訓練	視能訓練	視能訓練	北澤 憲孝 視能訓練	北澤 憲孝 視能訓練 (AM)
総合小児科	南 希成 (AM) (PM4時~5時予防接種相談)	樋口 司	樋口 司 (PM) 南 希成 (PM) (ワクチン接種)	南 希成 (AM) (PM4時~5時予防接種相談)	樋口 司 (AM)
総合小児科 アレルギー外来	小池 由美 (PM)		小池 由美 (AM)		
血液腫瘍科 免疫・アレルギー外来			小林 法元 (AM)		
血液腫瘍科 血液・腫瘍外来	坂下 一夫 倉田 敬	坂下 一夫 (AM)	坂下 一夫	坂下 一夫	倉田 敬
循環器科 (内科・外科)	岡村 達 (AM) 梅津健太郎 (AM) (外科)	安河内 聰 瀧間 浄宏 田澤 星一 (内科)	原田 順和 (AM) 岡村 達 (AM) 梅津健太郎 (AM) (外科)	安河内 聰 瀧間 浄宏 武井 黄太 (内科)	田澤 星一 武井 黄太 (内科)
循環器科 成人移行期外来		元木 博彦 (AM) (第4)			
リハビリテーション科					笛木 昇 (AM)
精神科 こころの診療科					篠山 大明 <sup>※2</sup> (再診のみ)
脳神経外科	重田 裕明 宮入 洋祐	重田 裕明 宮入 洋祐		重田 裕明 宮入 洋祐	
泌尿器科 皮膚・排泄ケア外来	市野みどり		市野みどり	市野みどり (AM)	市野みどり (PM)
神経小児科	平林 伸一 (午前は発達障害専門外来) 福山 哲広	平林 伸一 (午前は発達障害専門外来) 福山 哲広 (PM) 中嶋 英子 (AM) 服部 有香 (PM)	平林 伸一	中嶋 英子 (AM) (第1・3・5 PM) 服部 有香 (AM) (第2・4 PM)	平林 伸一 福山 哲広
小児外科					高見澤 滋 (胃瘻・中心静脈栄養外来)
新生児科	亀井 良哉 (AM) 中村 友彦 (PM)	廣間 武彦	関 聡子	廣間 武彦	山口 由美
形成外科	野口 昌彦 藤田 研也 一之瀬優子 (AM)	安永 能周 (AM) (第4)	野口 昌彦 藤田 研也 一之瀬優子	野口 昌彦 (PM)	野口 昌彦 (PM) 杠 俊介 (PM) 藤田 研也 (PM) 永井 史緒
総合小児科		竹内 浩一 (内分泌・代謝)	中山 佳子 (AM) (第1) (消化器) 水城 弓絵 (AM) (第2) (内分泌系)	竹内 浩一 (内分泌・代謝)	竹内 浩一 (AM) (内分泌・代謝)
麻酔科	大畑 淳 (AM)				大畑 淳 (AM)
皮膚科				芦田 敦子 (AM) (第2・4)	
遺伝科	古庄 知己 (AM11時~)	西 恵理子	西 恵理子	西 恵理子 (AM) 高野 亨子 (PM) (第3)	西 恵理子 (AM) (PM2時~)
耳鼻咽喉科	佐藤梨里子	佐藤梨里子	佐藤梨里子	佐藤梨里子	岩佐陽一郎 (AM)
循環器小児科 胎児心臓外来		武井 黄太	松井 彦郎	田澤 星一	瀧間 浄宏
産科	吉田 志朗 高木紀美代	吉田 志朗 高木紀美代	吉田 志朗 高木紀美代	吉田 志朗 高木紀美代	吉田 志朗 高木紀美代
リハビリテーション科	五味 優子 (AM) 笛木 昇 (PM)	笛木 昇	関 千夏	原田由紀子	笛木 昇 (PM)

※1 整形外科の加藤医師は3ヶ月に1回第3週のみ診察となります。

※2 精神科(こころの診療科) 篠山医師は、再診のみです。初診は受付していません。

★診察時間：午前9時～午後4時

★休日：土・日曜日、祝祭日、年末年始

★受診には、原則として予約が必要です。

予約専用電話

**0263-73-5300**